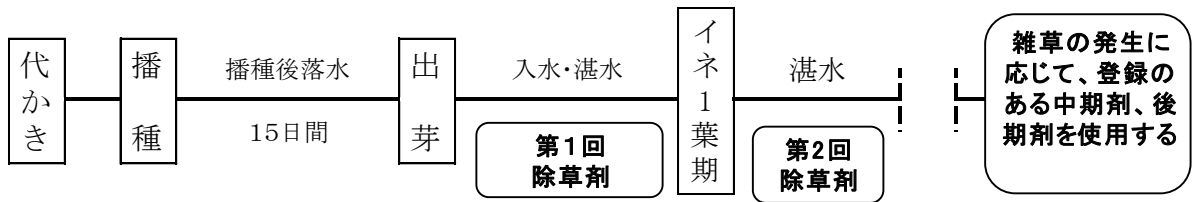


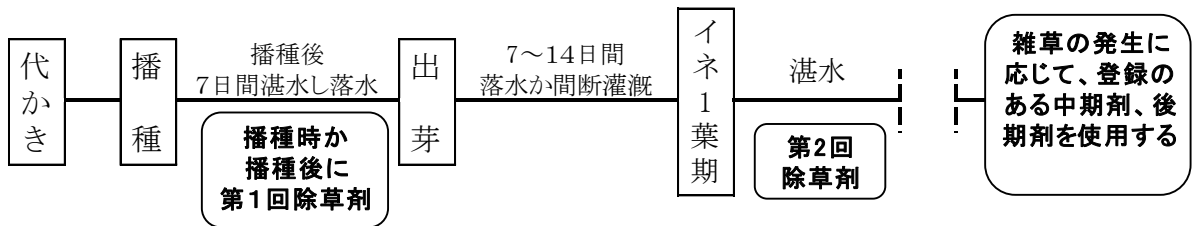
(7) 移植以外の栽培及び本作以外の除草剤

ア 湛水直播栽培の例

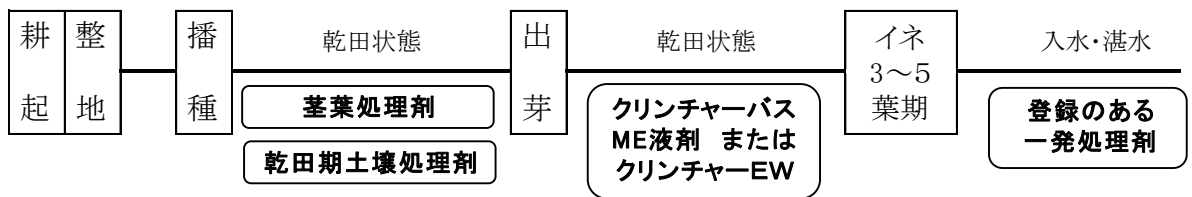
土中播種(カルパーコーティング)



表面播種(鉄コーティングなど)



イ 乾田直播栽培の例



ウ 水田耕起前、水田畦畔及び水稻刈跡の主要事例

剤名	適用			処理時期等	備考
	水田 耕起前	水田 畦畔	水稻 刈跡		
ラウンドアップ マック スロート	○※2	○※2	○※2	雑草生育期。畦畔は収穫前日まで。	適用雑草によって 薬量が異なる。
タッチダウン IQ	○	○	○	雑草生育期、草丈 30cm 以下。畦畔 は収穫 14 日前まで。	適用雑草によって 薬量が異なる。
バスタ液剤	○	○※2	○	雑草生育期。耕起 15 日前まで、畦畔 は草丈 30cm 以下で、収穫 7 日前ま で。	
ザクサ液剤	○	○	○	雑草生育期、草丈 30cm 以下。畦畔 は収穫 7 日前まで。	
カロン粒剤 4.5	×	○	○	秋冬期～春期（雑草発生前～発生始 期）	※
ワザイト P 乳剤	×	○	×	雑草生育期、草丈 30cm 以下。収穫 120 日前まで。	イネ科雑草専用剤

除草剤使用基準

グラスショット液剤	×	○※2	×	雑草生育初期（草丈 10cm）及び草刈り後 10～20 日の雑草再生期。但しイボクサは生育期。収穫前日まで。	草丈抑制による刈り取り軽減。
アフターエイトフロアブル	×	○	×	雑草生育期、収穫 7 日前まで。	イネ科雑草専用剤（スズメノカタビラを除く）

※1 対象雑草は、水稲刈跡は「一年生雑草」、水田畦畔は「一年生雑草及び多年生広葉雑草（マメ科を除く）」。

また、水稲刈跡に使用する場合、処理後土壌混和はしない。翌春に水稲以外の作物栽培予定のある場合は使用しない。

※2 散布液量が「通常散布」に加え、より少ない「少量散布」が並列して登録がある。